

県民の皆様へのお願いについて

山形県では、県内で10月下旬から新型コロナウイルス感染症の新規感染者が増加していることを受け、11月13日（金）に臨時の記者会見を開催し、当面の感染拡大防止対策等について、知事から県民の皆様へ呼び掛けを行いました。

県内の新規感染者は、10月下旬に5名（82～86例目）、11月に入ってから、昨日までに8名（87～94例目）と続いており、入院患者も現在12名となるなど、予断を許さない状況となっております。県内でも今後、感染が新たな局面に入ることを警戒しなければならないと考えております。

県としましては、発熱患者等に関する身近な地域における相談・診療・検査体制の構築を図っているほか、インフルエンザとの同時流行に備え、市町村と連携し、インフルエンザ予防接種費用の助成など、感染拡大防止対策を行っているところです。

今後とも新型コロナの感染者が確認された場合には、保健所の積極的疫学調査により、速やかな濃厚接触者の特定と迅速な検査による感染者の把握に努め、市町村とも連携しながら封じ込めに全力を挙げてまいります。

山形県における新型コロナ対応の目安（注意・警戒レベル）については、現在、感染経路不明者や重症入院患者はいないため、レベル2ではあるものの、新規感染者が急激に増えており、レベル3に限りなく近いレベル2と捉え、「感染発生状況や特徴に応じた注意喚起や感染防止対策の徹底を協力依頼」というレベル3の対応に取り組んでいきたいと考えております。

感染の拡大を抑えるためには、増加傾向がみられる今こそ、しっかりと感染防止に努めることが大切です。

最近の感染事例をみますと、県外に出張し、飲酒を伴う会合での感染が推定される場所であり、そこから家族や職場の同僚に感染が広がっております。県外の移動先では、飲酒を伴う会合を控えていただくようお願いします。

来週末は三連休となります。県内での飲酒を伴う会合は慎重にいただき、会食に代えてお弁当を持ち帰っていただいたり、できるだけ少人数または短時間に済ませるなど、感染を防止する工夫をお願いします。

県民の皆様には、こまめな手洗いやマスクの着用、身体的距離の確保、3つの密を避けるなどの「新・生活様式」を今一度徹底していただくようお願いします。特に、マスクの着用については、医療専門家の方々からも改めて徹底する必要があるとの御意見をいただいておりますので、マスクの着用についてしっかりと徹底していただくようお願いします。

また、事業者の皆様には、業種別の感染拡大予防ガイドラインの実践状況を点検していただき、その取り組みの徹底を改めてお願いします。寒い時期になりましたが、換気についても十分御留意いただきたいと思っております。

なお、フェイスシールドやマウスシールドについて、学校現場で、教員の口の動きや表情が見えるようにしたい場合に着用しているところですが、そのほかの場面では、基本的に常時マスクを着用していただきたいと思っております。

感染された方やその御家族、医療従事者などに対する心無い言動やSNSでの書き込みなど、差別や偏見、いじめなどは決して行わないようお願いします。